

2019年3月期 第3四半期 決算カンファレンスコール 質疑応答概要
(2019年2月4日)

Q. PSにおいて、ユニバーサル社との協業に基本合意した経緯を伺いたい。

A. 数あるパチスロ関連企業の中でもトップクラスの技術力および販売力を有していることに加え、当社の強みであるコンテンツ開発力と補完関係にあり、競争力の高い機種開発が可能と考えたからです。なお基本合意には至りましたが、協業範囲については現在協議中です。

Q. 『バイオハザード RE:2』の状況を伺いたい。

A. 発売3日(2019年1月28日時点)で300万本を販売しており、現時点では順調に推移しています。今期の計画本数を上回ることができるよう、引き続き拡販に注力していきます。

Q. 『デビル メイ クライ 5』の受注状況など、現時点での感触を伺いたい。

A. 発売1ヵ月前となり営業・販促活動に努めておりますが、現時点では社内想定から大きな離れはなく、計画達成に向け順調な出足となるであろうと考えています。

Q. 市場で噂になっている次世代ハードへの対応を伺いたい。

A. 次世代ハードに関して、現時点でお伝えできることはありません。ソフトメーカーである当社としては、ハードの更新サイクルを意識しつつ、どのようなハードが発売されたとしても、各ハードの特性やターゲットとなるユーザーへ合わせた楽しさを提供できるゲーム開発に努めたいと考えています。

Q. 5G(第5世代移動通信システム)への対応について伺いたい。

A. モバイル部門において、次世代規格へ積極的に対応していくという方針に変更はありません。通信規格が5G、6Gへと進化することには高い関心を持っており、社内でも対応について協議しています。

Q. 2019年第3四半期(10月~12月)における『モンスターハンター:ワールド』の販売本数に関して、ハードおよび地域の内訳を伺いたい。

A. 同期間での販売本数120万本の内、大半が海外のPC版です。

Q. 2019年第3四半期(10月~12月)において『バイオハザード7 レジデント イービル』のリピーター販売が伸長した要因を伺いたい。

A. 『バイオハザード RE:2』との関連プロモーションや年末商戦など、潜在的な需要を喚起できたことが要因であると分析しています。

Q. 中小型タイトルの状況を伺いたい。

A. 2019年第3四半期累計（4月～12月）で『ロックマンX アニバーサリーコレクション』関連タイトルが92万本、『ロックマン11 運命の歯車!!』が87万本、『ストリートファイター30th アニバーサリーコレクション インターナショナル』が80万本とそれぞれ順調に進捗しています。なお、『鬼武者』（リマスター版）は第3四半期時点では国内のみの販売ですが、堅調な出足となりました。

以 上